

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成19年9月27日(2007.9.27)

【公開番号】特開2005-106053(P2005-106053A)

【公開日】平成17年4月21日(2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-016

【出願番号】特願2004-233983(P2004-233983)

【国際特許分類】

**F 0 1 D 11/08 (2006.01)**

**F 0 2 C 7/28 (2006.01)**

【F I】

F 0 1 D 11/08

F 0 2 C 7/28 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月10日(2007.8.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

しかしながら、歯の質量が、翼形部の質量中心と同じ半径方向線に位置していないので、この非対称的な設計は、特に高温時にバケット上のシュラウド下方のフィレット（すなわち、翼形部と先端シュラウドとの間の領域）内の応力を増大させることになることが明らかになってきた。高温時におけるこの応力の増大は、高いクリープ率を招き、例えば割れ又は裂けの発生により、ついにはシュラウドの破損を生じるおそれがある。ただ一つのバケットが破損するだけで必然的にタービンをオフラインにする原因になることが分かるであろう。その結果、先端シュラウドと翼形部との間のフィレット領域における応力の増大によるシュラウド破損により、時間と費用の掛かる修理が必要となり、その修理にはタービンをオフラインにすることに加えて修理を行うための労力と交換部品を必要とする。

【特許文献1】米国特許第 4053111 号明細書

【特許文献2】米国特許第 4227703 号明細書

【特許文献3】米国特許第 4961310 号明細書

【特許文献4】米国特許第 5064343 号明細書

【特許文献5】米国特許第 5197281 号明細書

【特許文献6】米国特許第 5407320 号明細書

【特許文献7】米国特許第 5452529 号明細書

【特許文献8】米国特許第 5833244 号明細書

【特許文献9】米国特許第 5899660 号明細書

【特許文献10】米国特許第 6086328 号明細書

【特許文献11】米国特許第 6171351 号明細書

【特許文献12】米国特許第 6241471 号明細書

【特許文献13】米国特許第 6254345 号明細書

【特許文献14】米国特許第 6302651 号明細書

【特許文献15】米国特許第 6409471 号明細書

【特許文献16】米国特許第 6457939 号明細書

【特許文献17】米国特許第 6478304 号明細書

【特許文献18】米国特許第 6494678 号明細書

- 【特許文献 19】米国特許第 6506022 号明細書
- 【特許文献 20】米国特許第 6533285 号明細書